

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】令和 5 年 10 月 4 日(2023.10.4)

【公開番号】特開 2022-90790(P2022-90790A)  
【公開日】令和 4 年 6 月 20 日(2022.6.20)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-110  
【出願番号】特願 2020-203301(P2020-203301)  
【国際特許分類】

**B 2 7 B 5/36(2006.01)**

10

**B 2 3 D 45/14(2006.01)**

**B 2 7 B 5/20(2006.01)**

【F I】

B 2 7 B 5/36

B 2 3 D 45/14 A

B 2 7 B 5/20 B

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 26 日(2023.9.26)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

図 9 に示すように支点部 51X と力点部 51Z を結ぶ第 1 線（距離 L1）と、支点部 51X と作用点部 51Y を結ぶ第 2 線（距離 L2）とが概ね 120° 程度の鈍角を有している。これにより、レバー部材 51 は、支点部 51X を中心として概ね V 字形（山形）に屈曲した形状を有している。支点部 51X と力点部 51Z との間の距離 L1 は、支点部 51X と作用点部 51Y との間の距離 L2 より大きくなるようにアーム部 51c の傾動部 31 からの突き出し量が適切に設定されている。距離 L1 > 距離 L2 の設定によりレバー部材 51 を梃子として機能させることができる。これにより少ない操作力で切断機本体 10 の左右傾斜位置を微調整をすることができる。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

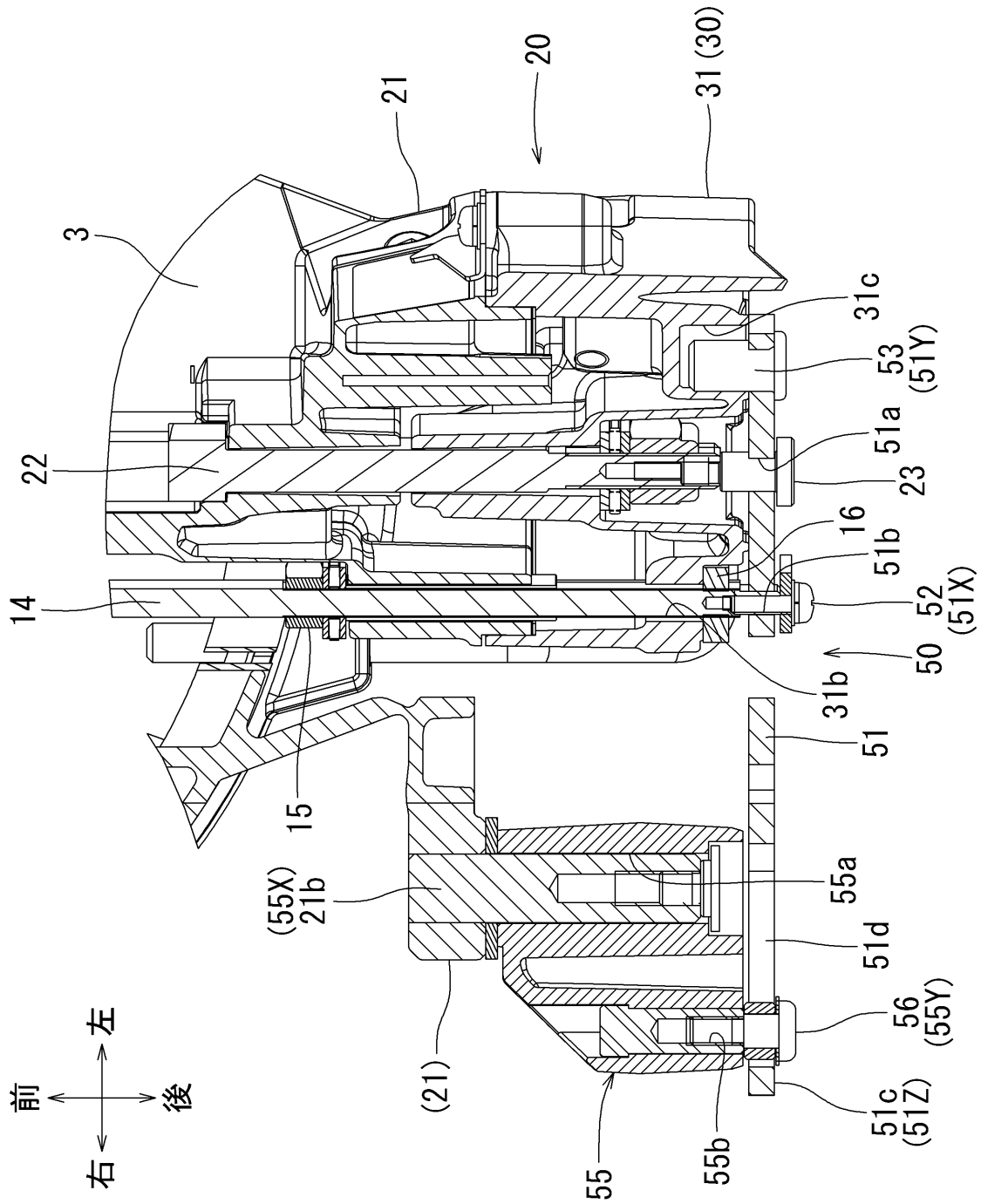
【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【 図 5 】



10

20

30

40

50